

一般質問

● 9月議会で14人の議員が市政全般について質問しました。●

地元を向け、自らの力で、自らの財産を活かし、活気ある街づくりを目指す市政を！

中瀬議員

(1) 地産地消について

食物も木材も本来地産地消が一番。林業、農業、漁業総て繋がっており、森林の保全で水資源は守られ豊かな川の水で農業、ひいては海も豊かな漁場となる。まずは原点に立ち返り身近な所からの取り組みが必要。森の保全をはじめ地元産木材、野菜、果物他に大村湾の浄化に効果ありと始められた牡蠣の養殖も好調のようだが、それらの海産物を含めた地産地消の取り組みについて伺いたい。

(2) 歴史を活かした街づくり

純忠の時代、明治維新と大村藩が果たした役割は大いに誇り得る歴史。それを活かした街づくりには、まず辛うじて残る歴史的建物の保存が不可欠。また、今の大村市の範囲ではなく、大

村藩で歴史を捉えないと本来の姿は見えてこない。天正少年についても今の大村はゆかりの地ではない。それらを含めた取り組みの考えを伺いたい。

農林水産部長

(1) 地産地消の推進

については、食の大切さ、農業に対する理解の浸透、地元消費に対する意識の高揚を図るとともに、生産者と消費者が一体となった地域内流通のために、農産物直売所や学校給食など地元産品の利用を推進している。市内には加工所も含め約20ヶ所あり、農家の農業への取り組みが意欲的になり、地域の活性化に大きな効果が出ている。さらに農村漁村交流や販売など地域を活性化していくための大村市グリーンツーリズム推進協議会が設置されており、観光農園や農業体験による新たなビジネスに取り組んでおられる。学校給食についても、地元産利用は上昇しており、特に米については100%使用していただいている。今後は、他の農産物についても

積極的に使用をお願いしていきたい。

教育次長 (2) 今後、長崎街道大村宿の雰囲気づくりについては、一つの家屋だけではなく大村宿全体を見据えた計画が必要であり、さらに地域の整備のあり方を含めた検討課題であると考えている。

(その他の質問事項)

・行政のあり方について
・地場産業の支援育成について

◎石積み工法による大村湾の

護岸について将来の展望は？

◎災害弱者の支援ネットワークづくりの進捗状況は？

大崎議員

(1) 大村湾の浄化対策

① COD値をさらに下げるため

どんな取り組みをしているか。

※COD値：海水や湖沼の汚れの度合いを示す指数

② 湾岸5市5町の自治体間での協力体制は？

③ 河川ではコンクリート三面張り護岸は近年見直されて自然型

河川改修が行われている。海岸

においても石積み護岸が生物の

育成や海の浄化に有効と言われている。将来の展望はどうか？

(2) 災害対策について

① 災害弱者の支援ネットワーク

づくりの進捗状況は？

② 災害弱者が最も頼るべき自主防災組織の組織化がなかなか進まない現状であるが、今後どの

様に取り組むのか？

③ 障害者や要介護者の避難所は現在計画している一般避難所では無理がある。二次避難所をどうするの？

④ 災害ボランティアの募集と育成を自主防災組織と平行して行

ってはどうか？

水道局次長 (1) ① 今後、一層の汚

水処理施設の整備促進を図り水

洗化の向上に努めたい。また処

理場流入水の負荷の軽減が重要

であり、市民へのPRに努めた

い。



大村湾をきれいにする会による沿岸清掃